

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール ひだまりユニットまとめ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の時に理念を復唱し職員同士が共有しあい常に理念を念頭におき日々のケアを実践している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため地域交流は出来ていないが、感染状況を確認しながら出張美容室や子供会の廃品回収の協力を行っている	コロナ感染予防を優先することが大切だと思う。事業所全体で「あまり出来ない」という評価だが、今までの実績が十分あり、コロナが落ち着いたら以前のような交流をされ、今は出来るところから始めてください		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の活動状況などを報告し意見交換を行っている。感染状況を確認しながら、書面での意見交換を行っている	運営推進会議の内容は、十分すぎるほど出来ている。毎回事業所の報告から内容が十分伝わってくる。写真なども見て分かりやすく包み隠さず報告している印象を受けている。このまま継続で良い		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談がある時は担当の方へ連絡を行い速やかに連携が図れる体制となっている。又運営推進会議を通じて協力関係を築いている	上記の内容と同様に、質問がある時は行政へ相談していることも報告を受けている。又この会議の場でも連携が図れていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会を中心に全職員が身体拘束に関する研修を受講している。会議では例外三原則の確認を行い、拘束をしないケアに取り組んでいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、現場や入居スペースを実際に見学することが出来ないため、事業所の評価の通りという判断を頂く。今後、感染状況が落ち着いた段階で入居スペースの現場を見学していただくように取り組んでいく
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を中心に全員が虐待に関する研修を受講している。今年度から虐待の動画を使用し虐待が行われている真実を知り防止を図っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様、事業所の評価の通りの判断を頂く。委員会の報告書の通り職員全員が研修を受けているのを把握している。但し入居者からの暴力や暴言が酷い時もあるため、職員が必要以上に精神的負担がかからないようにすることも必要と助言を受ける
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を中心に研修を行い内容も周知を図っている			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には時間がかかる旨を津ため十分に説明をする時間を設けている。また個別に質問がある時は随時説明を行っている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に家族の方が参加しており運営について説明し意見を頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族として運営推進会議の場に参加することで事業所の運営方針等理解することが出来るが、参加されていないご家族への説明の場も必要だと思つと助言を頂く
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会意義内にて職員の意見を確認している。参加できない職員には、事前に資料を配布し意見を出すように取り組んでいる			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人規定に基づきキャリアパス・資格取得助成を図っている。各自の向上心が図れるよう必要な研修等の周知・受講している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修報告の書類の閲覧ができていないが、事業所の評価の通りと判断する。今後機関を設け、研修受講関係の書類の閲覧をして頂くよう取り組む。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため、Zoom 研修を行い手軽に参加することが出来ている。今年度から外部研修への受講も推進している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様。事業所の報告の通り判断。今後研修受講関係の書類の閲覧をして頂くよう取り組む。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣に同業者が少なくまたコロナ禍のため開催が少ないが、法人内で職員の派遣など協力を得、情報共有が出来ている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のADLにあうえあせ共に家事を行ったりアクティビティを楽しむことで関係を築くことが出来ている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため難しい面もあるが、Zoom での面会が出来途切れない支援を行っている	今はコロナ感染の対策をすることが重要だと思う。直接面会が出来なくても、オンラインや電話・アクリル板越しの面会を行っている状況が分かる。継続した取り組みが必要。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活歴や身体能力などから、意向をくみ取り安全・安心して生活が出来るよう支援している			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会議にてカンファレンスを実施し確認している。ご本人の状態の変化や意向の変更がある都度見直しを行っている	プランの内容に大きな変化は無くとも、細かなアセスメントとモニタリングを行っているのが記録で読み取れている。また毎月のカンファレンスで入居者の方の状態を細かく共有していることが見て取れる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6か月毎のプラン更新している。担当者会議以外でも細かなアセスメントやカンファレンス記録があり、話し合いを行いモニタリングされている。個別ケース記録も整っておりケアに連動している。またご本人同意・家族同意を得ている
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日ケース記録を入力している。又申し送りノートへ記載し全員で周知・確認している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記内容に連動している。日々のケアを細かく共有し実践しており、ケアプランに連動している。その結果入居者の方が安心して穏やかな表情で過ごしているのが確認できている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況の応じて他科受診支援を行っている。また感染状況に応じながら面会方法を工夫し実習生の受け入れを行っている	福祉医療機関では多職種が一同に勤務しているため、作業療法士や理学療法士などが日常的にゲームやリハビリを行っています。GHでは取り組みが難しいかも知れませんが、外部の連携も検討しても良いと思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にて地域の方が参加し意見を頂いている。又避難訓練には地域協力者の方の参加協力を頂いている	コロナ禍でもあり例年行っている地域交流などが殆ど出来てはいない様子だが、以前から地域交流の実績があるので徐々に出来るところから交流を図っていくようにして欲しい。町内会や行政・社協も協力できるところから始めたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関の往診を受けている、またかかりつけの専門医への通院支援を個別に行っている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との関係は良好でありいつでも相談できる関係である。又早期の、退院支援もスムーズに行えている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内の医療機関との連携については聞いています。毎月の往診を受け早期の受診に繋げたり、専門医への紹介を受けたり、入院患者や老健入所者の受入れなど連携が出来ているので継続して欲しい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	指針をまとめており入居契約時に説明を行い同意を得ている。終末期に向けては課題はあるが、本人の状態に応じて必要な医療を受けている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りを行っていくことは、現在の医療体制では難しいところもあるが、高齢者はいつ急変するか分からないため、これらの指針を作成し医療機関と連携を図ったり、その時々の方々の心身の状況に応じて家族の意向を確認することが出来ると思うので継続して欲しい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルや緊急連絡網を掲示し職員が冷静に対応できるように取り組んでいる。またリスク委員会にて毎年研修を実施している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災委員にて消防計画に基づき実施している。災害時備品や食料も整えており、訓練には地域協力者の参加も得ている	水害被害を受けやすい立地であるため、今後「高齢者自主避難」の対象となった場合、初期段階として『やまびこ』の福祉避難所へ一時的に避難することも可能と確認を頂く。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練の際、階段を車椅子で避難する訓練を実施したと職員から報告を受けており、不安材料に対して一つ一つ実践的な訓練を行っていると評価する。備蓄品等も整っていることも確認
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーを守るため、耳元での声掛けを行い、不適切な声掛けが行われないよう対応している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「〇〇ちゃん」と呼ぶ方の根拠を説明できている。同郷であり以前一緒に働いていた方同士で互いに「〇〇ちゃん」と呼んでいた経緯があるなど。他者の方に安易に「〇〇ちゃん」と呼んでいない。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の時間については、意向に沿えないこともあるが、その他はご本人のペースでそれぞれ自由に過ごしていただいている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事を一緒に行ったり、特別な日にはご本人に要望を伺い食事を提供している。手作りおはぎやアイスの日など「お楽しみ会」を行い食事が楽しめるよう支援している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の広報誌でも行事や季節を感じる食事の提供、地元生産の食材を使用して食事を楽しんでいる様子が十分に伝わっている。また家事仕事を入居者の方と一緒にしている風景もグループホームならではの支援なので継続して欲しい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員の食事量や水分量を確認し記載している。形状も個別に把握し提供を行っている			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内に食べ物が残っている時や、起床時・就寝前に声掛けや介助にて口腔ケアを行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの場面を確認していないが、入居者の方に「肺炎」の方がいないという説明が「口腔ケアを適切に行っている」という根拠となる。全介助の方で口腔ケアが難しい方もいるが、スポンジブラシやウェッティーを活用し行っていると説明があり適切と判断する
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チャック表を活用している。個々人の間隔に合わせて誘導を行っている。自然排便が出来るようオリゴ糖を取り入れている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄が「自立な方」「介入が必要な方」と見極めが出来ており排泄チェック表を活用している。皮膚への影響がある方に適切に介入することで改善に至っている事例もあるため適切と判断する
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	曜日や時間帯の希望に沿うことは難しいが、入浴剤を使用しかおりや色を楽しんで頂いている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	光量や室温・温度などに注意し安眠しやすいよう支援を行っている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬マニュアルと作成しておりマニュアルに沿って服薬支援を行っている。またユニット会議時に服薬方法の再確認を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「飲ませ忘れ」の報告を適切に行政へ報告しており、マニュアルを整備していることを確認している。他者の薬を服薬させた事例は無いため、引き続きマニュアルを遵守し服薬支援を行って頂きたい
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の得意なことを行っていたり、満足間とやりがいを持てる生活支援を行っている	長年培ってきた方々の得意とすることをきちんと把握し、針仕事や家事仕事、段ボールの畳み等様々な活動を行っている様子が広報誌などでも伝わっている。役割ややりがいは高齢者にとっても重要なことであり、普段と異なった時何が原因かなど、更にアセスメントを深めることが出来るため、職員の皆さんの専門性のスキルの向上にもなる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を図りながら徐々に少人数でドライブに行ったり、散歩外出や買い物など支援を行っている	まだコロナ禍であり高齢者への影響は大きい。緩和された頃に少しずつリスクを回避し感染対策を講じながら徐々に進めていくようにすると良いと思う。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に紛失するリスクを説明し理解を得ながらご自分で管理できる方は自己管理を行っている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持し自由に電話をしたり、施設の電話も自由に使用できるよう支援をしている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの身体状況に合わせた家具や手すりの配置を行っている。介護用品を積極的に活用し安全な空間を整備している。また観葉植物や写真・テレビなど自由に配置しご自分の時間を過ごしていただいている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居スペースを見学した上で、ご家族代表から「コロナ前は良く来ていましたが、3年ぶりに入りました。テーブルの位置も変わっていて、変わった根拠も「感染対策のため」と説明を受け細かなところまで配慮していると感じました。」その時々に応じ全体のバランスを考慮し変更していることが分かる。介護用品の活用や台所の設えなどから一般家庭と同様の生活状況が伺えている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限りご本人や家族から要望を伺い意向に沿った暮らしができるよう支援をしている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本情報や生活歴を把握し、出来ること・好きなこと・得意なことなど把握し主体的に行えるよう支援をしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で情報共有を行っている。カンファレンスを開催しご本人の身体状況に応じた支援を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前述の通り入居者の方の状態について都度カンファレンスなどで共有しケアプランに連動されている。また行政に提出されている転倒事故報告書からも日常のアセスメントや状況改善について検討していることを把握できている
No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望や要望を伺い希望に沿えるよう努めている。ご自分で伝えることが出来ない方は、生活歴などからくみ取るよう努めている			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になじみの物を持参していただき、在宅時と変わり長いような空間作りを行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見学させて頂いた入居者の居室毎に設えが異なっており馴染みの物を配置し生活している状況が確認できている。仏壇や食卓テーブル椅子、ジュタンなど個性が確認できている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、外出は控えていたが、少人数でのドライブや散歩・買物等の支援を行っている	コロナ感染対策を十分に講じながら徐々に買い物や外出支援を再開していく。また町内の関係機関と連携し、カフェの再開・地域行事への参加など双方情報共有を図る		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の得意なことを積極的に行って頂き、工程が分からなくなった時には、ゆっくりと説明し能力が維持できるよう支援している			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他入居者と一緒に好きな歌を聴いたり楽しく会話を持つ機会を作ることによって活気ある生活が出来るよう支援している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴をアセスメントし長年培ってきたことを十分に発揮することが出来るようこれからも支援して頂きたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、交流は出来ていないが、感染状況を踏まえながらぬく杜カフェの再開などを交流できるよう検討している	地域社協からボランティアなど活動できる場「カフェの再開」があれば、是非協力したいとお話を受けている。感染状況を踏まえながら再開に向け調整していく		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況に応じて活動を行ったり、共に過ごすことを意識することで安心して生活できるよう支援している	ご家族代表より「家族としては十分やっています」というお言葉あり。引き続きご利用者の安心安全な生活の支援を継続して欲しい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この3年間コロナ感染予防対策について職員の方々は本当に大変だったと思います。また運営推進会議の報告の中でも、事故に対する検討会議や防災に関する避難・備蓄体制、社会的に問題となった虐待に対する対応など、速やかに対応していることが報告されています。 次年度は、事業計画に掲げた重点目標と共に運営推進会議にて申し合わせた目標「防災についてより地域と連携を図っていく」ことを目標に頑張って頂きたいです。